

## 県立玉造工業高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1 本年度の重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か。	A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に努力をしている。なかなか結果として表れないが、それを十分考慮した自己評価である。</li> <li>・昨年度の課題をもとに重点目標を設定し、取り組んでいる。その結果、ほとんどの設定目標は「達成できている」若しくは「おおむね達成できている」という評価であり、妥当であると判断する。</li> <li>・高校入学時点で子供たちが身につけているはずの学力や本来家庭で行うべき躰まで高校が担っている現実と社会人として必要な素養を身につけさせようと必死に取り組んでいる先生方の努力に頭の下がる思いである。</li> </ul>
2 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か。	A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員・学校後援会役員として何回か話を聞き、学校の現状を知る中で、目標達成のために努力していることがうかがわれる。自己評価は、私の見聞では妥当である。</li> <li>・ほとんどの評価項目において、自己評価は妥当であると思われる。しかし、教科指導における普通教科の中に、評価結果の分析が不十分と思われる項目が見られる。そのため、次年度の課題が明確になっていないように思われる。</li> <li>・子供たちは、玉造工高に入学することにより、自分の将来の職業や必要な資格や技術を身につけ、職業を決定しているように思われる。</li> <li>・各種コンテストや大会に出場する子供たちは、必要な技術や知識を積極的に身につけ、信頼できる人間関係を構築するなど、学校生活の楽しさや物作りのおもしろさ・楽しさに気づき、積極的に取り組んでいる姿が窺える。</li> </ul>
3 学校は次年度への主な課題を把握しているか。	A 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力、思考力等の向上のための読書の大切さ、生徒の主体的な活動、社会人としてスタートする準備等の課題を把握している。</li> </ul>
4 学校の改善方策への対応は適切か。	A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目によっては、一部ではあるが見直しで留まっており、課題が明確にならず、そのために改善方策にたどりついていないところがあるので、より具体的な実効性のある方策を設定することで更にすばらしい取組になると思われる。</li> <li>・生徒一人一人が興味や関心のある事柄に対し、積極的に取り組む活動を展開すれば、丁寧な物作りの必要性や重要性を体得できる子供たちが増えるのは確実である。人間だれしも自分の好きなことは苦労を苦労とは思わないものである。必用と思えば参考書を読み、先輩に尋ね、寸暇を惜しんで没頭するものである。あと少しこの輪が広がれば、やがて「校風」となり、黙っていても子供たちは先生に必要なアドバイスを求めてくるようになると思われる。</li> </ul>
5 学校の将来像についての検討がなされているか。	A 十分検討している B おおむね検討している C あまり検討していない D 検討していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像について学校全体で考えていることは確かである。</li> <li>・玉造工高の創立意義や地域から求められている存在意義、今の社会の中で求められる「ものづくり担い手の育成」という視点から、学校の将来像について検討がなされていると思う。特に基礎学力の向上や地域との連携において改善に取り組んでいる様子がうかがえる。ものづくり担い手の育成では、全国レベルの大会において成果をあげていることはすばらしいことである。</li> <li>・玉造工高に入学した子供たちの中には中学卒業時点の学力でしかたなく入学した子供たちも少なからずいるはずである。この子供たちのためにも、今の世の中にどのような職業が存在し、その職業に就くためには、どのような資格が必用なのかを、工業の枠を超えて具体的に積極的に知らせて欲しい。自分の将来のために何を学ばなければならないのかを少しでも早く気づかせることが大切である。</li> </ul>